

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年11月13日
【四半期会計期間】	第71期第2四半期（自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日）
【会社名】	仙波糖化工業株式会社
【英訳名】	Semba Tohka Industries Co.,Ltd
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小林 光夫
【本店の所在の場所】	栃木県真岡市並木町2丁目1番地10
【電話番号】	0285-82-2171
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理本部長 芝山 哲
【最寄りの連絡場所】	栃木県真岡市並木町2丁目1番地10
【電話番号】	0285-82-2171
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理本部長 芝山 哲
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第70期 第2四半期 連結累計期間	第71期 第2四半期 連結累計期間	第70期
会計期間	自平成28年4月1日 至平成28年9月30日	自平成29年4月1日 至平成29年9月30日	自平成28年4月1日 至平成29年3月31日
売上高 (千円)	8,674,574	9,259,425	17,624,040
経常利益 (千円)	334,095	391,328	727,552
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	224,850	316,698	439,703
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	245,407	330,272	497,482
純資産額 (千円)	7,770,934	8,243,467	8,027,034
総資産額 (千円)	15,967,449	17,265,746	16,710,966
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	19.75	27.82	38.62
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	48.7	47.7	48.0
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	588,040	288,764	1,202,575
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	308,377	601,996	722,143
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	410,575	13,447	262,675
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	1,504,863	1,555,666	1,855,601

回次	第70期 第2四半期 連結会計期間	第71期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成28年7月1日 至平成28年9月30日	自平成29年7月1日 至平成29年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	10.52	16.52

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、東アジアでの地政学リスクの高まりもあり、先行き不透明の状況が続いております。

食品業界におきましては、消費者の節約志向や選別消費の傾向が高まるなど、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは自社商材の拡販と提案営業の強化に加え、グループ全生産拠点の生産性向上に注力してまいりました。その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は92億59百万円（前年同四半期比6.7%増）となりました。

製品の種類別売上高では、カaramel製品は、飲料向け製品及びデザート関連製品が増加し、17億75百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。乾燥製品類は、粉末茶の伸張を主因に、29億37百万円（前年同四半期比7.4%増）となりました。組立製品類は、ヘルスケア関連製品の受注が好調に推移し、24億96百万円（前年同四半期比8.6%増）となりました。冷凍製品は、冷凍山芋及び冷凍和菓子が引き続き好調で、14億27百万円（前年同四半期比8.6%増）となりました。その他は、子会社の受託加工がやや減少し、6億23百万円（前年同四半期比3.1%減）となりました。

利益面につきましては、増収効果に加え、構造改革の成果もあり、営業利益は4億17百万円（前年同四半期比22.8%増）、経常利益は3億91百万円（前年同四半期比17.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億16百万円（前年同四半期比40.8%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して2億99百万円減少し、15億55百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は2億88百万円（前年同四半期は5億88百万円の獲得）となりました。

これは、減価償却費3億67百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は6億1百万円（前年同四半期は3億8百万円の使用）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出5億17百万円、関係会社出資金の払込による支出2億10百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は13百万円（前年同四半期は4億10百万円の使用）となりました。

これは、長期借入れによる収入2億円、長期借入金の返済による支出1億38百万円等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1億43百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,000,000
計	36,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成29年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成29年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,400,000	同左	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	11,400,000	同左	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株 式 総数残 高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
平成29年7月1日～ 平成29年9月30日	-	11,400	-	1,500,500	-	1,194,199

(6)【大株主の状況】

平成29年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
東洋水産株式会社	東京都港区港南2-13-40	2,005	17.58
UNITED FOODS INTERNATIONAL 株式会社	東京都千代田区猿楽町1-5-18 千代田ビル	1,393	12.21
ユタカフーズ株式会社	愛知県知多郡武豊町字川脇34-1	1,000	8.77
株式会社足利銀行	栃木県宇都宮市桜4-1-25	558	4.90
株式会社常陽銀行 (常任代理人 日本マスター トラスト信託銀行株式会社)	茨城県水戸市南町2-5-5 (東京都港区浜松町2-11-3)	542	4.75
株式会社榎本武平商店	東京都江東区新大橋2-5-2	325	2.85
仙波糖化工業従業員持株会	栃木県真岡市並木町2-1-10	298	2.61
魚住昭義	栃木県真岡市並木町	268	2.35
理研ビタミン株式会社	東京都千代田区三崎町2-9-18	150	1.31
芳賀通運株式会社	栃木県真岡市鬼怒ヶ丘8-3	147	1.28
計	-	6,688	58.67

(注) 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 16,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,379,800	113,798	-
単元未満株式	普通株式 4,200	-	-
発行済株式総数	11,400,000	-	-
総株主の議決権	-	113,798	-

【自己株式等】

平成29年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
仙波糖化工業(株)	栃木県真岡市並木町 2丁目1番地10	16,000	-	16,000	0.14
計	-	16,000	-	16,000	0.14

(注) 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成29年7月1日から平成29年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,870,601	1,570,666
受取手形及び売掛金	4,050,065	4,571,462
商品及び製品	1,676,483	1,899,425
仕掛品	580,484	488,311
原材料及び貯蔵品	683,896	663,593
繰延税金資産	143,448	146,207
その他	190,410	93,497
貸倒引当金	3,415	1,666
流動資産合計	9,191,975	9,431,498
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,820,621	3,045,837
機械装置及び運搬具(純額)	1,853,430	1,941,094
その他(純額)	845,423	705,385
有形固定資産合計	5,519,474	5,692,317
無形固定資産		
無形固定資産	58,839	65,670
投資その他の資産		
投資有価証券	1,572,680	1,564,368
繰延税金資産	221,103	210,458
その他	156,573	311,154
貸倒引当金	9,680	9,721
投資その他の資産合計	1,940,676	2,076,260
固定資産合計	7,518,990	7,834,248
資産合計	16,710,966	17,265,746

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,179,828	2,213,741
短期借入金	2,429,515	2,543,148
未払法人税等	112,593	172,745
賞与引当金	274,995	299,997
その他	1,067,482	1,088,246
流動負債合計	6,064,415	6,317,878
固定負債		
長期借入金	1,247,171	1,275,173
退職給付に係る負債	1,217,564	1,237,791
資産除去債務	51,874	51,940
その他	102,906	139,495
固定負債合計	2,619,516	2,704,400
負債合計	8,683,931	9,022,278
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,500	1,500,500
資本剰余金	1,203,109	1,203,109
利益剰余金	4,595,484	4,798,342
自己株式	5,058	5,058
株主資本合計	7,294,035	7,496,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	729,802	743,854
為替換算調整勘定	11,579	10,123
退職給付に係る調整累計額	12,410	11,525
その他の包括利益累計額合計	728,971	742,452
非支配株主持分	4,027	4,120
純資産合計	8,027,034	8,243,467
負債純資産合計	16,710,966	17,265,746

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成29年 4 月 1 日 至 平成29年 9 月30日)
売上高	8,674,574	9,259,425
売上原価	6,970,571	7,367,162
売上総利益	1,704,002	1,892,263
販売費及び一般管理費	1,364,027	1,474,649
営業利益	339,974	417,613
営業外収益		
受取利息	2,134	1,084
受取配当金	13,310	13,669
為替差益	-	160
その他	11,234	11,778
営業外収益合計	26,679	26,692
営業外費用		
支払利息	13,511	11,304
持分法による投資損失	9,636	36,983
為替差損	473	-
その他	8,936	4,689
営業外費用合計	32,559	52,977
経常利益	334,095	391,328
特別利益		
投資有価証券売却益	-	66,975
特別利益合計	-	66,975
税金等調整前四半期純利益	334,095	458,303
法人税、住民税及び事業税	101,797	149,236
法人税等調整額	7,447	7,906
法人税等合計	109,245	141,330
四半期純利益	224,850	316,973
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	274
親会社株主に帰属する四半期純利益	224,850	316,698

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	224,850	316,973
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,212	14,051
為替換算調整勘定	13,340	1,381
退職給付に係る調整額	705	885
持分法適用会社に対する持分相当額	3,021	255
その他の包括利益合計	20,556	13,299
四半期包括利益	245,407	330,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	245,407	330,178
非支配株主に係る四半期包括利益	-	93

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	334,095	458,303
減価償却費	370,290	367,842
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,945	1,707
賞与引当金の増減額(は減少)	2,353	25,002
役員賞与引当金の増減額(は減少)	15,000	-
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	21,042	26,161
長期未払金の増減額(は減少)	1,761	1,753
受取利息及び受取配当金	15,445	14,754
支払利息	13,511	11,304
為替差損益(は益)	1,177	44
持分法による投資損益(は益)	9,636	36,983
投資有価証券売却損益(は益)	-	66,975
固定資産除却損	2,039	1,973
売上債権の増減額(は増加)	2,738	563,470
たな卸資産の増減額(は増加)	169,332	100,505
その他の流動資産の増減額(は増加)	40,422	67,333
仕入債務の増減額(は減少)	86,112	76,036
その他の流動負債の増減額(は減少)	26,175	41,008
その他	12,658	9,742
小計	751,013	372,480
利息及び配当金の受取額	14,804	14,514
利息の支払額	13,139	11,381
法人税等の支払額	164,638	86,848
営業活動によるキャッシュ・フロー	588,040	288,764
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	5,000	5,000
定期預金の払戻による収入	5,000	5,000
有形固定資産の取得による支出	364,155	517,076
有形固定資産の除却による支出	427	-
無形固定資産の取得による支出	3,050	9,680
投資有価証券の取得による支出	3,828	3,558
投資有価証券の売却による収入	-	108,300
投資有価証券の償還による収入	20,000	-
関係会社出資金の払込による支出	-	210,862
貸付けによる支出	3,750	1,000
貸付金の回収による収入	46,191	26,180
保険積立金の解約による収入	-	3,058
その他の支出	1,054	84
その他の収入	1,696	2,726
投資活動によるキャッシュ・フロー	308,377	601,996
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	50,000	79,988
長期借入れによる収入	-	200,000
長期借入金の返済による支出	230,568	138,353
リース債務の返済による支出	16,395	14,227
自己株式の取得による支出	38	-
配当金の支払額	113,573	113,960
財務活動によるキャッシュ・フロー	410,575	13,447
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,017	151
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	133,929	299,935
現金及び現金同等物の期首残高	1,638,792	1,855,601
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,504,863	1,555,666

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形の金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
受取手形	- 千円	28,675千円
支払手形	-	17,970

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
給料手当及び賞与	248,097千円	306,020千円
賞与引当金繰入額	85,533	101,920
退職給付費用	20,337	22,140
貸倒引当金繰入額	1,871	1,707
運賃	260,817	276,919
研究開発費	135,374	143,556

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
現金及び預金勘定	1,519,863千円	1,570,666千円
預入期間が3か月を超える定期預金	15,000	15,000
現金及び現金同等物	1,504,863	1,555,666

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月29日 定時株主総会	普通株式	113,840	10.00	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月29日 定時株主総会	普通株式	113,839	10.00	平成29年3月31日	平成29年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

当社グループは、食品製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	19円75銭	27円82銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	224,850	316,698
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	224,850	316,698
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,384	11,383

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年11月9日

仙波糖化工業株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	小松 聡	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	伊藤 治郎	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	松浦 竜人	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている仙波糖化工業株式会社の平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成29年7月1日から平成29年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、仙波糖化工業株式会社及び連結子会社の平成29年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。